



令和6年10月5日

自主防災ときとう

発行 時任町会自主防災部
防災部長 佐久間英昭
函館市時任町19-13
電話 51-3429
(時任町会館内)

特別警報がでた時の車避難について!

特別警報の種類	ハザードマップ確認・最新のデータ情報にしておく。
(1) 大雨	何らかの災害の可能性あり 警報が出た時点で、避難所に行くように
(2) 台風 (暴風・高潮・波浪・暴風雪)	警報は、6時間~12時間前に出します。 (避難の余地があります。)
(3) 大雪	避難路の確保を。

避難方法

水平避難	(1) 早めに徒歩で避難所に行く。 (2) 移動は普段履いている靴。(靴ひも付きの方がよい) (3) 急に深みに入ることがあります。(側溝、マンホールの蓋がはずれてる) (4) 傘等で周りの状況を確認しながら避難する。
垂直避難	(1) 特別警報時、(災害が発生している場合がある。) 2階以上に避難を (2) 急斜面に近い場所は早めの避難。高齢者は警戒レベル3で避難を。



冠水した道路の車走行

- (1) 冠水が車高の通常9センチ以上になったら、ブレーキが利きづらくなり制御が難しくなる
- (2) 冠水がタイヤの半分位まできたら、ハンドル操作が困難になる。
- (3) 走行は10キロ程度で走るように。
- (4) 床面まで冠水したら電気装置が聞かない。スライドパワーウインドが動かなくなる。
- (5) マフラー、吸入口まで冠水したら、エンジンとまり再始動しなくなる。
- (6) ドアの半分位が冠水したら水圧で内側からはほぼ開けられなくなる。

冠水した道路に侵入した。

- (1) シートベルトを外し、エンジンを切りすぐに脱出する。
- (2) 車のドアが開かない場合は、脱出用ハンマーを使って側面のガラスを割る。
- (3) 脱出できない場合は、中に入った水位と外の水位が同じになると、水圧の差がなくなり車のドアが開きやすくなる。



水が引いた後では

- (1) 冠水した車はすぐにエンジンをかけると感電の危険があります。
- (2) 漏電火災が発生する可能性があります。
- (3) ハイブリット車は、高電圧のバッテリーなので、バッテリーにむやみに触らないこと。

